庭園、公園、森林

Jardim da Quinta dos 7 Castelos
住所： Av. Pedro Álvares Cabral
ウェブサイト： http://www.cm-oeiras.pt/voeiras/Turismo/OndeIr/Paginas/PatrimonioNaturaleAmbiental.aspx

アソーレス諸島

Angra do Heroísmo

Parque do Monte Brasil
住所： Monte Brasil Angra do Heroísmo

その他の情報:
レクリエーション森林保護区。
標高 – 350～500メートル。
面積－12 ヘクタール。
日付 XX
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;

モンテ・ブラジル (Monte Brasil) は樹木が密生する大きな公園です。広い通りに周辺を囲まれ、数多くの遊歩道があります。公園内には湖、池、温室、子供の遊び場、ピクニックエリア、樹木に囲まれた芝生、複数のサービス提供施設があります。また、あちこちに小川が流れ、天然の湧き水が出ています。主な植生は、スギ、シダ、フクシャ、西洋ツツジ、さまざまな蔓性植物です。

見どころには、サン・ジョアン・バプティスタ礼拝堂 (Capela de São João Baptista) 、移民の記念碑、動物飼育園（シカ、ベトナムブタ、ウサギ、インコなど）が挙げられます。

また、公園にはピコ 島(Pico) 、ファイアル島(Faial) 、グラシオーザ島(Graciosa) 、テルセイラ島 (Terceira) を一望できる展望台もあります。

Horta

Jardim Botânico
住所： Quinta de São Lourenço - Flamengos Horta - Ilha do Faial

時刻表:
6月～9月:月～金– 午前9時～午後7時、 土日祝－ 午前10時～午後1時 / 午後2時～5時半。
10月～5月:月～金– 午前9時～午後12時半 / 午後2時～5時 、土日祝－休。;
その他の情報:
面積 5600平方メートル。
特色とサービス:
屋外駐車場;
アクセス:
バス;

フラメンゴス植物園（Jardim Botânico dos Flamengos） オルタ（Horta）の街にあるフラメンゴス植物園は、植物の種の保存、分類、および繁殖のための科学研究に力を注いでおり、アソーレス（Açores）諸島の植物園の中でも特別な存在です。 園内には、テーマごとに分けられたさまざまな庭園がつくられており、西側にある国内外の芳香性植物や薬草の庭園、東側にあるマカロネシア原産の植物（アソーレス諸島の固有種と

Jardim da República
住所： Praça da República - Horta - Ilha do Faial

時刻表:
出入り自由。;
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ; バー; レストラン;
アクセス:
バス;
レプブリカ公園（Jardim da República）
オルタ（Horta）にあるレプブリカ公園は、のんびりとした快適なひとときを過ごせる場所です。広い道に緑の芝生、火山岩で縁取られたロマンティックな小さな湖、そしてコンサートなどのパフォーマンスが行われる野外ステージがあります。また、ナンヨウスギ、イチョウ、トネリコ、ニレ、オーク、モクレン、カポック（パンヤノキ）など、重要な種類の木々を見ることができます。

さらに庭園の近くには、アモール・ダ・パトリア協会（Sociedade Amor da Pátria）、コロネル・シルヴァ・レアル小学校（Escola Primária Coronel Silva Leal）、そしてインペリオ・ドス・ノーブレス（Império dos
Nobres）といった非常に特徴的な建築様式による重要な建物があります

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

、マデイラ諸島・カナリア諸島原産の植物）を集めた庭園、および外国産の観賞植物の庭園などがあります。 園内には、さまざまな植物群の自生地を再現したゾーンに区分けされており、海岸地域と低地の植物のゾーン、標高が中間から高い地域の植物のゾーン、そして峡谷部分には標高が中間から高い地域特有の月桂樹の森を見ることができます。 ここにある植物のほとんどはマカロネシア原産の植物で、アソーレス諸島の固有種が45種、アソーレス諸島とマデイラ諸島に共通する植物が6種、マデイラ諸島とカナリア諸島に共通する植物が5種、そしてマカロネシア全域で見られる植物が2種あります。

Jardim Largo do Infante

住所： Largo do Infante Horta - Ilha do Faial

時刻表:
出入り自由。;
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ; バー;
アクセス:
バス;

ラルゴ・ド・インファンテ庭園（Jardim Largo do Infante） ラルゴ・ド・インファンテ庭園は、オルタの街を訪れる人にとって絶対に外せない場所のひとつです。地元の人の間でも人気が高く、特に夏の夜は多くの人が訪れます。この公園の最大の魅力は、ここから見たマリーナとピコ（Pico）島の風景です。 公園中央の道沿いにはエンリケ航海王子（Prince Henry the Navigator）の記念像があり、ポルトガルの発見の歴史において王子が果たした役割を思い出させてくれます。 この公園には、4本の立派なカナリーヤシをはじめ、ニュージーランド・クリスマスツリーやギョリュウなどがあります。

Parque Florestal do Cabouco Velho

住所： Cabouco Velho Salão - Horta - Ilha do Faial

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
標高:500メートル。
面積:5ヘクタール。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;

カボウコ・ヴェーリョ森林公園（Parque Florestal do Cabouco Velho） カボウコ・ヴェーリョ森林公園は標高500メートルの場所にある、自然を満喫できる公園です。園内には遊歩道やピクニック場、脱穀場や子どもの遊び場があり、快適なひとときを楽しめます。 植物好きの人であれば、スギ、マツ、イトスギ、セコイアといった木々を見つけることができるでしょう。スズランノキ、ハナミズキ、アソーレス・ジュニパー、そしてパウ・ブランコ（Picconia azorica）など、アソーレス（Açores）諸島固有の植物を観察して植物の知識を増やす良い機会になります。

Ilha das Flores

。

Parque da Alagoa

住所： Alagoa - Horta Ilha do Faial

時刻表:
出入り自由。;
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ; バー;
アクセス:
バス;

アラゴン公園（Parque da Alagoa） アラゴン公園は、オルタ（Horta）の街中、自治体のプールやコンセイサオン海水浴場（Praia da Conceição）の近くにあります。ここでは、つかの間の休憩を楽しんだり、遊歩道をのんびりと散歩したり、ピクニック場や子どもの遊び場を利用しながら思い思いの時を過ごすことができます。 植物に関心がある人には、ニュージーランド・クリスマスツリー、ナンヨウスギ、カナリーヤシといった、アソーレス（Açores）諸島に多く見られる植物を眺めめる楽しみがあります。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Parque Florestal Luís Paulo Camacho
住所： Fazenda de Santa Cruz Santa Cruz - Ilha das Flores

時刻表:
月～金－5月/6月/10月:
午前9時～午後5時。7月/8月:午前9時～午後8時。9月:午前9時～午後7時。
土日祝:5月/6月: 午前11時～午後6時。7月/8月/9月:
午前9時～午後8時。10月:午前10時～午後5時。;
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;
アクセス:
バス;

ルイス・パウロ・カマーショ森林公園（Parque Florestal Luís Paulo Camacho） ルイス・パウロ・カマーショ公園は、フローレス（Flores）島、サンタ・クルス（Santa Cruz）の近くにあります。この公園の特徴は植物の種類が非常に豊富なことで、特に、針葉樹やこの地域固有の植物が目を引きます。

公園内にあるピクニック場や小さな動物園で楽しいひとときを過ごすこともできます。この動物園には、シカの群れに加え、キジ、テンニンチョウ、ニホンウズラ、オシドリ、フィンチ、ミヤマオウム、インコといった外国の鳥やポルトガル国内に住むさまざまな鳥がいます。

ここを訪れた際には、ぜひ展望台まで足を伸ばしてみてください。リベイラ・ダ・ファゼンダ・ダム（Barragem da Ribeira da Fazenda）から見渡す、素晴らしい眺めが楽しめます。

Ilha de Santa Maria

Parque Florestal das Fontinhas
住所： Santa Bárbara Vila do Porto - Ilha de Santa Maria

時刻表:
月～金:午前9時～午後6時。;
その他の情報:
標高:400メートル。
面積:3 ヘクタール。
特色とサービス:
屋外駐車場;

フォンティーニャス森林公園（Parque Florestal das Fontinhas） フォンティーニャス森林公園は、サンタ・マリア（Santa Maria）島の中で最も標高の高いピコ・アルト（Pico Alto）の西斜面にあります。広大な養樹場があり、その中にはスギの木立に囲まれた広いスペースが設けられています。

涼しく植物が豊富なこの公園の環境は、レクリエーション活動に最適です。公園内に設けられたピクニック場や子ども公園をぜひ利用してください。 ここにはさまざまな種類の植物が植えられていますが、特にスギ、ヒマラヤスギ、オーク、プラタナス、アガパンサス、ジャカランダ、ツバキ、西洋ツツジが多く見られます。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Ilha de São Jorge

Jardim da Praça da República

住所： Praça da República Velas - Ilha de São Jorge

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
面積:2300平方メートル。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ; バー; レストラン;
アクセス:
バス;
レプブリカ広場公園（Jardim da Praça República）
この公園は、ヴェラス（Velas）の街の中心となる広場にあります。周りには街の庁舎やヴェレンセ交響楽団が入っている建物などがあり、こうした素晴らしい建築物に囲まれた環境が、この公園の魅力をさらに引き立てています。

快適に余暇を楽しむことができるこの公園には、野外ステージが設けられており、定期的にコンサートやパフォーマンスが行われています。

Parque Florestal das Sete Fontes

住所： Rosais Velas - Ilha de São Jorge

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
標高:350～500メートル。
面積:12ヘクタール。

特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;

セテ・フォンテス森林公園（Parque Florestal das Sete Fontes） セテ・フォンテス森林公園は、サン・ジョルジェ島で最も重要な自然保護区のひとつです。敷地も広く、12ヘクタールの広さがあります。公園内は木々が生い茂り、いくつもの遊歩道が設けられていて、子ども向けの遊び場やピクニック場などのレジャーエリアに続いています。その道のりには、いくつもの湖や小川や泉があり、自然を愛する人を喜ばせてくれます。

忘れてはならないのが、ここで見られる非常に多様な植物です。この公園では、スギ、シダ、フクシア、西洋ツツジ、そして数種のつる性植物を目にすることができます。

公園内には、移民を記念して建てられたサン・ジョアン・バプティスタ教会（Capela de São João Baptista）や、小さな動物園があります。この動物園では、シカ、ベトナムブタ、ウサギ、インコなどが飼育されています。 公園内に複数ある展望台へはぜひ足を運んでみてください。

展望台からは、ピコ（Pico）島、ファイアル（Faial）島、グラシオーザ（Graciosa）島、そしてテルセイラ（Terceira）島を臨むことができます。

Parque Florestal da Silveira

住所： Ribeira Seca - Calheta Ilha de São Jorge

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
標高:310～400 メートル。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;

シルヴェイラ森林公園（Parque Florestal da Silveira） シルヴェイラ森林公園は小さな川沿いにあり、さまざまな水車小屋や橋とともに、豊かでエキゾティックな植物を見ることができます。 この公園の植物は非常に多様で、特に木の種類が豊富であり、ナンヨウスギ、マツ、ユリノキ、オーク、ジャカランダ、プラタナス、ニュージーランド・クリスマスツリーなどを見ることができます。 公園内には、子どもの遊び場、ピクニック場、そして小さな動物園も設けられています。この動物園では、ダチョウ、シカ、ベトナムブタ、ハト、ウサギ、インコ、モルモットをはじめ、たくさんの動物に出会えます。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Ilha de São Miguel

Jardim Antero de Quental

住所： Rua Aristides da Mota, Largo do Colégio Ponta Delgada - Ilha de São Miguel

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
面積:4000平方メートル。
特色とサービス:
トイレ;

アンテロ・デ・ケンタール庭園（Jardim Antero de Quental）
この庭園は、サン・ミゲル（São Miguel）島出身で、19世紀のポルトガル文学界の主要人物のひとり、アンテロ・デ・ケンタール（1841－1892）を記念して作られました。園内には、この有名な詩人の生涯と作品を記したモニュメントが建てられています。 この庭園には、随所に典型的な「アールデコ」様式の装飾が施されています。その特徴は特に柵や歩道のデザインにはっきりとみとめられ、このレジャーエリアに独特の雰囲気を与えています。

Parque Terra Nostra

住所： Largo Marquês da PraiaFurnas - Povoação - Ilha de São Miguel

時刻表:
4月～7月－午前10時 ～午後7時; 8月－ 午前10時 – 午後7時半;
9月/10月－午前10時 – 午後7時; 11月～3月－午前8時～午後5時。;
その他の情報:
平均標高 – 200メートル。
面積－125 ヘクタール。
ガイドツアーは、テラノストラ・ガーデン・ホテル（Terra Nostra Garden Hotel）にて予約可能。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ; バー; ガイドツアー; レストラン;
アクセス:
バス;

テラノストラ公園 (Parque Terra Nostra) の歴史は、フルナス (Furnas) 村の温泉スパ、夏のリゾート地としての発展と結びついています。

テラノストラ公園は、18-19世紀に作られたロマンチックなスタイルの植物園です。サン・ミゲル島 (Ilha de São Miguel) 屈指の人気スポットで、地元の人はもちろん、温泉プールや美しい景色、エキゾチックな植生の多様性と豊かさに魅力を感じてやってくる外国人観光客も訪れます。公園は2つのゾーンに分けられます。高地ゾーンは、遊歩道と深い森が占めています。低地ゾーンは、リベイラ・アマレラ (Ribeira Amarela) とセルペンティナ・デ・アグア(Serpentina de água) の間のエリアで、ぶらぶらできる遊歩道、芝生、池、噴水があります。

見どころには、ソテツ、在来植物、ツバキ、シダを使ったテーマのある庭園と、ヤシの並木道やイチョウの並木道が挙げられます。

主な植生種は、オーク、セイヨウハコヤナギ、ギンドロ、スギ、ナンヨウスギ、ユリノキ、ツバキ、木性シダ、アジサイ、アザレア、シャクナゲです。

Ilha do Pico

Jardim dos Serviços Florestais de São Roque

住所： Cais do PicoSão Roque - Ilha do Pico

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
面積:1 ヘクタール。
特色とサービス:
屋外駐車場;
アクセス:
バス;

サン・ロケ森林局庭園（Jardim dos Serviços Florestais de São Roque）
サン・ロケの森林局地方事務所の近くにある、快適なひとときを過ごせる庭園です。幾何学式につくられた庭園で、低木や高木に縁取られた花壇や遊歩道が幾何学模様を形作っています。
ここから見える海や隣のサン・ジョルジェ（São Jorge）島の景色を楽しむだけでも、十分にこの庭園を訪れる価値があります。 園内には、ヘザー、ハナミズキ、リュウケツジュといった現地の植物や、ナンヨウスギ、アカシア、トチノキといった外来の植物が植えられています。

Mata dos Dragoeiros

住所： Rua do Carmo Madalena - Ilha do Pico

時刻表:

Jardim Florêncio Terra

住所： Largo da Misericórdia Horta - Ilha do Faial

時刻表:
出入り自由。;
特色とサービス:
屋外駐車場;
アクセス:
バス;

フロレンシオ・テーラ庭園（Jardim Florêncio Terra） 19世紀につくられたフロレンシオ・テーラ公園は、オルタ（Horta）の街で最も古い公園のひとつです。

園内にはいくつかの彫刻が置かれ、野外ステージと小さな湖があり、快適なひとときを過ごすことができます。また、上の方で一体となった5本のリュウケツジュや、ナンヨウスギなどの巨木も、一見の価値があります。

Parque Florestal do Mistério da Prainha

住所： Prainha São Roque - Ilha do Pico

時刻表:
7月～9月:月～金:午前8時～午後8時。土日祝:午前10時～午後8時。10月～

火～金:午前9時15分～午後12時半、午後2時～5時半。土日:午前9時15分－午後12時半。月祝－休。;
その他の情報:
面積:1 ヘクタール。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;
アクセス:
バス;

ドラゴネイロスの森（Mata dos Dragoeiros） ピコ（Pico）島にあるドラゴネイロスの森（リュウケツジュの森）は、アソーレス（Açores）諸島の中でも最大級のリュウケツジュの森で、一度は訪れてみる価値があります。リュウケツジュは、アソーレス諸島を含むマカロネシア原産の木です。

この森は18世紀につくられたブドウ園の中にあり、ワイン博物館も併設されています。ここを訪れた際には、ぜひこの博物館に立ち寄って、ピコ島におけるブドウ作りの歴史に触れ、質の高いアソーレス産ワインを楽しんでみてください。

Parque Florestal do Mistério de São João
住所： Lajes - Ilha do Pico

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
標高:0～275メートル。
面積:212ヘクタール。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;
アクセス:
バス;

ミステリオ・デ・サン・ジョアン森林公園（Parque Florestal do Mistério de S. João） ピコ（Pico）島にあるこの公園は、南斜面の広大な敷地を有しています。全体で212ヘクタールの広さのあるこの公園は、サン・ジョアン地区とサン・カエターノ（São Caetano）地区に接しています。

公園名に入っている「ミステリオ」は、サン・ジョアンがその名で知られていたことからきています。 公園内では、ピクニック場や子どもの遊び場などのレジャー設備が利用できます。また、植物好きの人であれば、カイガンショウ（マツの一種）やスギをはじめとする草木を楽しむことができるでしょう。

5月:月～金－午前8時～午後8時;
その他の情報:
標高:150～200 メートル。
面積:119 ヘクタール。
特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;
アクセス:
バス;

ミステリオ・ダ・プライーニャ森林公園（Parque Florestal do Mistério da Prainha） この森林公園は、ピコ（Pico）島の「ミステリオ・ダ・プライーニャ（神秘の浜）」と呼ばれる地域にあります。この場所は、1562年から1564年に起こった歴史的な火山活動によって形成されました。

ここでは今も溶岩流の跡や、圧縮されてできた平岩、スコリア、火山岩などを見ることができます。 現在は、子どもの遊び場や、複合スポーツパーク、ピクニック場など、さまざまなレクリエーション設備がそろったレジャーパークとなっています。林の中を縦横に走る小道は散策に最適で、芝生の広場、カナス湾（Baía de Canas）、エンデミカス公園（Parque das Endémicas／固有種の公園）、そして展望台へとつながっています。その道のりでは、マツやニュージーランド・クリスマスツリー、アジサイやツバキをはじめとする植物を見ることができます。

ここを訪れた際には、ぜひ公園の入口近くにあるトラディショナルなワインセラーに立ち寄り、ピコ島の代表的なワインを味わってみてください。

Quinta das Rosas
住所： Madalena - Ilha do Pico

時刻表:
6月～9月－月～金:午前8時～午後8時。土日祝－午前10時～午後8時。
10月～5月－月～金:午前8時～午後4時。;
その他の情報:
標高:135～150 メートル。
面積:18ヘクタール。

特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ;

キンタ・ダス・ローザス（Quinta das Rosas） キンタ・ダス・ローザスは、マダレナ（Madalena）の街の近くにある森林保護区で、ピクニック場や小さな湖に加え、レクリエーション設備が整った快適なレジャースポットです。

ここの見どころのひとつに「マロイソ（Maroiço）」があります。これは土地から取り除いた余分な石を積み上げた塚であり、ピコ島特有の建造物です。

公園内には非常にバラエティに富んだ植物が多数あり、オーストラリア原産のジャカランダ、アオキ、ツバキ、ハイビスカス、ブルグマンシア、クンシランなどを見ることができます。また、アボカド、アーモンド、プラムの果樹や、プラタナス、ヤシ、トチノキ、ナンヨウスギ、リュウケツジュなどさまざまな巨木もあります。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Ponta Delgada

Campo de São Francisco

住所： Campo de São Francisco Ponta Delgada - Ilha de São Miguel

その他の情報:
標高 - 9 メートル。
面積－1.2 ヘクタール。

サン・フランシスコ公園（Campo de São Francisco） 昔のフランシスコ修道院の向かいにあるフランシスコ公園は、19世紀につくられた、ポンタ・デルガーダ（Ponta Delgada）で最も古い公園のひとつです。

公園は、ポンタ・デルガーダで人気の高いナイトスポットで、特に多くのコンサートが開かれる夏にはたくさんの人でにぎわいます。公園の中央に設けた野外ステージを利用して、数々の催しが開かれています。

セニョール・サント・クリスト・ドス・ミラグレス祭（Festas do Senhor Santo Cristo）の時には街の文化的催しのメイン会場となり、公園中に光と音楽と色彩があふれます。

Jardim Sena Freitas

住所： Rua Marquês da Praia Ponta Delgada - Ilha de São Miguel

時刻表:
出入り自由。;
その他の情報:
面積:3000平方メートル。

セナ・フレイタス庭園（Jardim Sena Freitas）
ポンテ・デルガーダ（Ponte Delgada）の中心部にあるセナ・フレイタス庭園は、つかの間の休憩を楽しんだり、色とりどりの花壇の間を散歩したりするのに最適な、非常に人気のある公園です。
周囲には、マルケス・ダ・プライア宮殿（Palácio do Marquês da Praia）、メデイロス・エ・アルブケルケの屋敷（Solar dos Medeiros e Albuquerque）、そしてアソーレス地方政府が庁舎として使用しているコンセイサオン宮殿（Palácio da Conceição）など、興味深い古い宮殿があります。また、この庭園にはさまざまな種類の植物が植えられており、トチノキ、カナリーヤシ、シダレヤナギ、ユリノキ、ニセアカシア、ニュージーランド・クリスマスツリー、サバジラ、セイヨウハナズオウなどを見ることができます。

Jardim do Campo Mártires da Pátria

住所： Largo Mártires da Pátria Ponta Delgada - Ilha de São Miguel

時刻表:
出入り自由。;
特色とサービス:
トイレ; バー;

カンポ・マルティレス・ダ・パトリア庭園（Jardim do Campo Mártires da Pátria） カンポ・マルティレス・ダ・パトリア庭園は、ポンタ・デルガーダ（Ponta Delgada）の中心部にあります。地域文化会館（Centro Municipal de Cultura）やゴヴェルノ宮殿（Palácio do Governo）といった街の重要な建物に近く、中でもコンセイサオン教会（Igreja da Conceição）は庭園を訪れた際にぜひ立ち寄りたい場所です。 この庭園には、幅の広い道とゆるやかな階段に沿ってアラビアゴムモドキなどの低木やさまざまな草花が植えられており、のんびりとした時を過ごすことができます。中央にはテラス付きのカフェがあり、ちょっと一休みするのに最適です。

アレンテージョ

Santarém

Portas do Sol

時刻表:
10月～2月:午前8時～午後8時。
3月～9月:午前8時～午後10時。;
その他の情報:
この庭園は体の不自由な方にもアクセシブルな公共エリアです。運動能力に制限のある障害者対応トイレや入り口がアクセシビリティ対応のレストランがあります。
特色とサービス:
トイレ; バー; レストラン;

ポルタス・ド・ソル（Portas do Sol） 現在のポルタス・ド・ソルは、古代の防壁に囲まれた公園です。サンタレン（Santarém）の街の南東部にあり、リバテージョ（Ribatejo）地域で重要な展望台のひとつです。ここからは、アルメイリン（Almeirim）、アルピアルサ（Alpiarça）、そして

テージョ川（Rio Tejo）が横切る牧草地帯を眺めることができます。

キリスト教徒によるレコンキスタの時代（12世紀）、ポルタス・ド・ソルはサンタレンの街へ通じる8つの門のうちのひとつでした。 当時の防壁のうち、最も保存状態の良いのはポルタス・ド・ソルに残っている壁ですが、フィゲイラスの泉（Fonte das Figueiras）やカベッサスの塔（Torre das Cabaças）にも同じ防壁の一部が残っています。その他の部分は、街の発展と拡大にともなって既に取り壊されています。

ポルトと北部地方

Porto

Parque da Fundação de Serralves
住所： Rua de Serralves, 977 4150-417 Porto
ウェブサイト： http://www.serralves.pt/pt/parque/

時刻表:
冬季（10月～3月）:火～日:午前10時～午後7時;
夏季
（4月～9月）:火～金:午前10時～午後7時; 土日祝:午前10時～午後8時;
休:月、 1月1日、12月25日。

;

セラルヴェス財団公園 ポルト（Porto）のちょうど中心に位置するセラルヴェス財団公園（Parque da Fundação de Serralves）は、庭園、雑木林、バラ園、ロマンチックな湖を含む18ヘクタールに及ぶセラルヴェス・ハウス（Casa de Serralves）を越えて広がっており、都会の喧騒から逃れたいすべての人にとって理想的な避難所となっています。

同じ名前を持つ同財団の本部であるセラルヴェス・ハウスで始まった「公式の庭園」は、20世紀の造園の最も注目すべき例の1つです。この庭園はドゥロ川（Rio Douro）に向かって500メートルの長さがあります。端には、低い場所にあるロマンチックな湖へと下りていく階段があります。この庭園は、ジャック・グレベ（Jacques Gréber）（1882～1962年）が1932～1940年にかけて設計したものです。彼は、フランスの建築家兼造園家であり、富裕層のためにフランス式庭園の設計を行って米国およびカナダで名声を確立しました。公園には、他のよく手入れされた場所に加えて、バラ園（現在は修復中）、日時計の庭（Jardim do Relógio de Sol）、ツバキ園（Jardim das Camélias）（ここでは香り豊かなハーブと植物が販売されています）などの興味深いさまざまな場所があります。

この公園を訪ねるもう1つの決定的な理由は、セラルヴェス現代美術館（Museu de Arte Contemporânea de Serralves）にあります。この建物は、建築家のアルヴァロ・シザ・ヴィエイラ（Álvaro Siza Vieira）が設計しており、周囲の環境に調和する造園計画を代表しています。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

Vila Nova de Famalicão

Parque da Devesa
住所： Rua Fernando Mesquita,nº 2453 – D, Antas4760-034 Vila Nova de Famalicão
Eメール: parquedadevesa@famalicao.pt ウェブサイト： https://www.parquedadevesa.com/

特色とサービス:
屋外駐車場; トイレ; バー; ガイドツアー; レストラン; 道標ルート; 駐車場: 27 hectares;
アクセス:
バス;

ポルトガル中部地方

Castelo Branco

Jardim do Paço Episcopal
住所： Rua Bartolomeu da Costa 6000-642 Castelo Branco Tel: +351 272 344 277

時刻表:
10月～ 4月 ー 午前9時～午後5時;
4月～10月 – 午前9時～午後7時。 ;

を代表する名所です。イタリア風に設計された庭園は複数の階層を階段がつなぐ構成で、装飾用の箱型生垣に囲われた花壇で表現するテーマのある散歩道や通りがあります。

この庭園の顕著な特徴のひとつに、花崗岩の石像の多さが挙げられます。中でも、階段の脇に年代別に並んでいる歴代のポルトガル王の像は印象的です。おそらく、最も興味深いのは、スペインの支配下に置かれた1580年から1640年までの間ポルトガルを治めていた王の像が、その他の王より小さい点でしょう。

通り沿いには、噴水や滝のある池がふんだんにあり、黄道十二宮、四季、四大陸、四元徳、三元美徳などの多様なテーマを表現する像が数多く点在しています。

庭園の隣には司教邸 (Paço Episcopal)
があります。16世紀後半に建設が開始され、グアルダ (Guarda) 司教の冬季の住居として使われたところですが、現在はカステロ・ブランコのもうひとつの見どころである、フランシスコ・タヴァレス・プロエンサ・ジュニオール博物館 (Museu Francisco Tavares Proença Júnior)
が入居しています。

Coimbra

Jardim Botânico da Universidade de Coimbra

住所： Calçada Martim de Freitas, 3000-456 Coimbra ¦ T: +351 239 855 215
Eメール: jardim.botanico@uc.pt ウェブサイト： http://www.uc.pt/jardimbotanico

特色とサービス:
ガイドツアー; 駐車場: 13 ha;

ポンバウ侯爵が主導した1772年以来コインブラ市の中心部に位置する庭園は、主にベネディクト会の修道士から寄贈された土地に13ヘクタール以上にわたり広がっています。2013年以来、ユネスコの世界遺産に登録されています。いくつかのレベル、階段、通りにまたがっており、世界で最も高く評価されている植物園の1つです。

それは自然史の研究と医学を補完することを目的として作成されました。1790年以降、植物学の最初の実践的な学校を始めた博物学者で植物学者のアヴェラ・ブロテロ（Avelar Brotero）が果たした役割は際立っていました。現在、このスペースは、植物の多様性、気候変動、そして資源の持続可能な利用に関する知識と重要性の認識を高めることに特に重点を置いています。

教育分野では、ガーデンは環境および文化教育プログラムを推進し、環境問題に関連する問題の認識を高め、市民の行動を採用しています。それはまた、あなたを散歩に誘うものが至るところにたたずんでいる静けさの場所でもあります。大学は、フィールド実習の場所であり、インターンシップと論文の訓練機関になっています。

熱帯と寒冷の温室（小川と滝が流れる）、医学校と体系的な学校とその樹木園には、世界中のさまざまな緯度と地域に由来する1,500種を超える植物が生息しており、この庭園は真の生きた博物館となっています。また、研究用温室や苗床もあります。庭と森のオープンスペース（総面積の3分の2は、自由に成長するエキゾチックな木で構成されている）とともに、科学普及活動のための2つの部屋、ジョルジュ・パイバ（Jorge Paiva）サイエンスルームとインサイチュサイエンスルームがあります。

Jardins da Quinta das Lágrimas

住所： Quinta das Lágrimas - Coimbra

時刻表:
3月～11月15日－火～日:午前10時～午後7時。
11月16日～3月15日－木～日:午前10時～午後5時。
1月休。;

コインブラ (Coimbra) のモンデゴ川 (Rio Mondego)
左岸にあるキンタ・ダス・ラグリマス (Quinta das Lágrimas) 荘園は、18.3ヘクタールの敷地面積があります。中央には、現在は高級ホテルとなっている19世紀の宮殿があります。周りを囲む庭園には外来種の植物が繁茂しており、中には樹齢200年を超えるものもあります。

南の丘陵には長い散策にぴったりの森林があります。ここには最近、ペドロ (Pedro) とイネス (Inês) の悲恋物語に捧げる中世庭園が作られました。ポルトガルでは他に類を見ない庭園です。この庭園のために隔離された純然たる環境をつくる試みが行われ、植物の選定にあたっては、歴史的彫刻や文書によって大航海時代前からの存在が証明できることを条件に約50種が選ばれました。

キンタ・ダス・ラグリマス荘園は、ペドロ1世 (Rei D. Pedro I) とイネス・デ・カストロ (D. Inês de Castro) との禁じられた恋の舞台としてポルトガル文学の数々の名作に登場します。しかし、彼らのロマンチックな恋の舞台は、実際は別の場所であったことはほぼ間違いありません。それでも、この庭園は “ 愛の運河 ” (Cano dos Amores) として知られる運河をとどめています。伝説によれば、この運河は荘園と宮殿をつなぎ、恋文を送り届ける役割を果たしていました。歴史によると、この運河の水はここで暗殺されたイネスの血で赤く染まったといいます。また、彼女の血の痕は今なお岩に見て取ることができると言われています。この現象は科学的に説明がつきます。血の痕とは実際のところ、ここに

Jardim da Sereia

住所： Praça da República, 3000-343 COIMBRA

生息し、岩を変色させる赤い藻（Hildenbrandia Rivularis） なのです。

現実と虚構の中間で、キンタ・ダス・ラグリマス荘園の庭園は、ロマンチックな雰囲気をとどめており、十分に訪れる価値のあるところです。

Tomar

Mata Nacional dos Sete Montes
住所： Praça do Infante D. Henrique, 2300-551 Tomar

その他の情報:
身体の不自由な方の通行は一部可。

セテ・モンテス森林公園 トマール(Tomar)の中心部、町の主要な街道に面したセテ・モンテス森林公園(Mata Nacional dos Sete Montes)は、面積約３９ヘクタール、この町を代表する公園です。城と深いつながりがある森は、かつて修道院の所領地だったことでも知られ、キリスト騎士団の農耕と思索の場として密接な関係にありました。 イトスギ、ハナズオウ、オーク、オリーブの古木などがうっそうとしげる深い緑のなかから、小さな教会堂が現れます。

これは円筒形の塔の形から、「シャロリーニャ（小円堂）」(Charolinha)と呼ばれています。研磨石材の小さな教会堂は、キリスト修道院(Convento de Cristo)の採光塔のレプリカのように見えますが、事実、キリスト修道院のルネサンス期作品を手がけた建築家ジョアン・デ・カスティーリョ(João de Castilho)の設計によるものです。円形の人口池に周囲をぐるりと囲まれたシャロリーニャは、まるで世界から孤絶した「避暑の家」、石橋がつなぐ秘密の隠れ家のようです。

Viseu

Parque do Fontelo - Viseu
住所： Avenida José Relvas 3500-001 Viseu

フォンテーロ公園（Parque do Fontelo） ー ヴィゼウ（Viseu） フォンテーロ公園は、自然と歴史的遺産が融合した広大なレジャーパークで、ヴィゼウ滞在の中でも一味違った爽快な1日を楽しめるところです。

公園内には、プール、キャンプ場、テニスコート、サッカー場、ジムといった施設の他に、ジョギングコースが設けられた緑地があります。さまざまな種類の古い木々が美しいこの緑地は、慎重に環境が保たれてきたことが評価され、1993年度の地域自治体事業ケルクス賞を受賞しました。

この素晴らしい公園の歴史は、ヴィゼウのオドリゴ司教がエルダデ・デ・フォンテーロ（フォンテーロ荘園）を購入した1149年までさかのぼります。その後1399年にジョアン・オメン司教が宮殿の建設をはじめます。その建設作業はオメン司教の後を継いだ聖職者たちによって受け継がれてきました。

フォンテーロがその栄華を極めたのは16世紀のことです。巨額の富とルネッサンス趣味のある、ローマ教皇の座を狙う強力な高位聖職者ミゲル・ダ・シルヴァ司教の主導によって、フォンテーロはポルトガルでも指折りのエキゾティックで贅沢な娯楽の場となり、16世紀の貴族や裕福な聖職者たちの人気を集めました。

また、同じ16世紀には、ゴンサロ司教によって、サン・ジェロニモ礼拝堂（Capela de S. Jerónimo）（1563年）と2つのポルティコ(柱廊)（Portico）（1565年）が建造されました。このポルティコのひとつには、ゴンサロ司教の紋章を見ることができます。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

現在のフォンテーロ公園は、ミゲル・ダ・シルヴァ司教の時代に比べて規模や豪華さは劣るかもしれませんが、一部のエリートたちだけが楽しむことができる特別な場所ではなく、誰もがレジャーやスポーツを楽しめる健全な場所になっています。

リスボンとその周辺地方

Lisboa

Jardim Afonso de Albuquerque

住所： Praça Afonso de Albuquerque Belém - Lisboa

アクセス:
バス; 鉄道駅;

アフォンソ・デ・アルブケルケ庭園（Jardim Afonso de Albuquerque） この庭園は約2ヘクタールの広さがあり、その中央には1057年から1515年にかけてポルトガル領インド総督であったアフォンソ・デ・アルブケルケの記念碑があります。この記念碑は彫刻家コスタ・モタによって製作されたもので、ネオ・マヌエル様式の台座は建築家のシルヴァ・ピントが設計しました。

この広場は1940年の「ポルトガル万国博覧会」の際につくりかえられ、彫刻家バラタ・フェーヨが手がけた4つの噴水を中心とする現在の形になりました。

Jardim Botânico da Ajuda

住所： Calçada da Ajuda 1300-010 Lisboa Tel: +351 213 622 503

Eメール: botanicoajuda@isa.ulisboa.pt ウェブサイト： https://www.isa.ulisboa.pt/en/visitors/ajuda-botanical-garden

アクセス:
バス;

アジュダ植物園（Jardim Botânico da Ajuda） この植物園は、1768年にポンバル侯爵の命を受けてアジュダ王立植物園としてつくられた、アジュダ地区にあるポルトガル最古の植物園です。

世界中から集められた植物の博物館とナーセリーの役割を果たす植物園としては、ポルトガル初のものでした。現在は、高等農学研究所によって管理されています。この植物園では、1994年から1997年にかけて修復プロジェクトが行われました。これは、植物コレクションを保存・展示することによってポルトガルの探検家たちの科学的探究心を記録する植物学的原点を維持しながら、レジャーとリラクゼーションの場を提供することを目的に行われたものです。

この修復プロジェクトの重要項目には、植物園の低地花壇の中央にある40の口を持つ噴水（素晴らしい石と水の競演）を復元すること、そしてポルトガル国内の施設や世界中のさまざまな植物園から入手した種を育てて植物コレクションを再構築することがありました。育てられた新しい植物は、ポルトガルに持ち込まれた背景と大航海時代を反映した植物地理学的な地域（ブラジル・南米、オーストラリア・ニュージーランド、マクロネシア、中央・大西洋岸ヨーロッパ、中国・日本、北米・中米、地中海地方・アフリカ）に分けて配置されています。

特筆すべきは「香りの庭園」で、眼の不自由な人たちのために点字の名札が付けられ、訪れる人が香りをかぎ手で触れることができるよう盛土した花壇に植物が植えられています。

また、園内には小さな複数の湖や、花を育てる温室、そして芝で作られた野外劇場もあります。

Jardim Botânico - Museu Nacional de História Natural

住所： Rua da Escola Politécnica, 58 1250-102 Lisboa Tel: +351 213 921 800 - Fax: +351 213 970 882
Eメール: geral@museus.ulisboa.pt ウェブサイト： http://www.museus.ulisboa.pt/jardim-botanico

時刻表:
3月末～10月末－月～金:午前9時～午後8時; 土日祝:午前10時～午後8時;
10月末～3月末－月～金:午前9時～午後6時; 土日祝:午前10時～午後6時;
休:12月25日、1月1日。;
アクセス:
バス;

植物園－国立自然史博物館（Jardim Botânico - Museu Nacional de História Natural） この植物園は、19世紀に、植物学と農学の基本を教える授業のために、旧王立貴族大学につくられたものです。

現在はリスボン大学の国立自然史博物館に統合されているこの植物園には、素晴らしい植物のコレクションがあり、その中には重要な外来植物を保存するセクションもあります。

この植物園にはポルトガルでも最大級のソテツ科植物（恐竜の時代から生き続けてきた植物）のコレクションがあります。また、ヤシやイチジクの木立の他に、サボテン・多肉植物のコレクションも一見の価値があります。 約4ヘクタールの敷地全体にはたくさんの木々が植えられ、その木陰には湖や橋、そして数々の彫刻が隠れています。

Jardim Botânico Tropical

住所： Largo dos Jerónimos 1400-209 Lisboa Tel: + 351 213 921 808
Eメール: geral@museus.ulisboa.pt ウェブサイト： https://museus.ulisboa.pt/pt-pt/jardim-botanico-tropical

時刻表:
午前10晴～午後5時;
休:祝日。;
アクセス:
バス;

熱帯植物園・博物館（Jardim-Museu Agrícola Tropical） この熱帯植物園・博物館は、1912年にヘンリー・ネイヴェルの提案により、かつてのポルトガル植民地で発見された植物の研究促進を目的に、ベレン王宮（Palácio de Belém）の外苑に建設されました。現在は、科学調査研究所によって管理されています。

この手入れの行き届いた公園には、絶滅危惧種を含むたくさんの熱帯・亜熱帯の植物が植えられ、その間には彫刻が飾られた湖や静かな休憩場所がつくられています。中でも一番の見どころは、アソーレス（Açores）諸島とマデイラ（Madeira）諸島で見られるクスノキ科の固有種のコレクションと、美しいワシントンヤシの並木です。

この植物園は、1940年に開かれた「ポルトガル万国博覧会」にも組み入れられました。時の首相サラザールは、旧植民地を思い出させる数々の

Jardim da Estrela ou Guerra Junqueiro

住所： Praça da Estrela - 1200 Lisboa

時刻表:
毎日午前７時～正午。。;
アクセス:
バス;
特色とサービス:
レストラン;

エストレラ庭園／ゲーラ・ジュンケイロ庭園（Jardim da Estrela ou Guerra Junqueiro） 一般にエストレラ庭園の名で知られるゲーラ・ジュンケイロ庭園は、ラパ（Lapa）地区の中にあります。この庭園は、トマール侯爵ベルナルド・ダ・コスタ・カブラルによって、19世紀（1842年）につくられました。

英国式公園に影響を受けた、ロマン主義的な要素のある自然主義に基づく公園で、柵に囲まれたその園内では、非常に興味深い植物を多数見ることができます。

他にも、4つの池、錬鉄製の野外ステージ、鉄の遊具の遊び場と木の遊具の遊び場、そして休憩所／地域図書館があります。

Jardim da Torre de Belém

住所： Av. Brasília Belém - Lisboa

アクセス:
バス; 鉄道駅;

ベレンの塔庭園（Jardim da Torre de Belém）
20世紀半ばまで、この場所にはベレン・ガス工場（Fábrica do Gás de Belém）がありました。この地域一帯は「ポルトガル万国博覧会」（1940年）の時に再整備され、ポルトガルの航海士たちが発見した新たな地を象徴するものとしてヤシの木が植えられました。

リスボンで名高い建造物のひとつであるベレンの塔は、この新しい庭園が目の前につくられたことによって、さらにその美しさを増しました。近くには、ヨットのマリーナ、ドーカ・ド・ボン・スセッソ（Doca do Bom Sucesso）があります。

Jardim do Campo Grande

住所： Campo Grande - 1700 Lisboa

ウェブサイト： http://www.jardimdocampogrande.pt

特色とサービス:
バー; レストラン;
アクセス:
バス;

カンポ・グランデ庭園（Jardim do Campo Grande）
16世紀にはカンポ・デ・アルヴァラーデ（Campo de Alvalade）の名で知られていた場所で、19世紀初頭にロマン主義的な様式の庭園がつくられました。

初めて競馬が開催された場所でもあり、現在も庭園の近くにつくられた競馬場で競馬が行われています。

その後1945年に、敷地を広げて新たな設備を加えるために建築家ケイル・ド・アマラルが庭園を再設計し、大衆向けのレクリエーションエリアに生まれ変わりました。

Jardins da Fundação Calouste Gulbenkian

住所： Av. de Berna, 45-A 1067-001 Lisboa

植物を世界に誇示するためにこの庭園を利用しました。

Jardim da Praça do Império

住所： Praça do Império - Belém - Lisboa

アクセス:
バス; 鉄道駅;
インペリオ広場庭園（Jardim da Praça do Império） この庭園は、ポルトガル独立800周年とスペインからの再独立300周年を記念して開催された、「ポルトガル万国博覧会」（1940年）のためにつくられました。イルミネーションの美しい噴水、フォンテ・ルミノーザ（Fonte Luminosa）がつくられたのもこの時のことです。 庭園内は32の紋章を組み合わせた設計になっており、低木や草花がかつてのポルトガル帝国の各州を表すように配置され、周囲にある4つの池には神話上の動物である海獣の尾を持つ2頭の馬の彫刻が据えられています。 庭園の近くには、リスボンでも最も有名な建造物のひとつであるジェロニモス修道院（Mosteiro dos Jerónimos）や、重要な展示会やコンサートが多く開かれるベレン文化センター（Centro Cultural de Belém）があります。

Jardim das Amoreiras ou Jardim Marcelino Mesquita

住所： Praça das Amoreiras - 1200 Lisboa

時刻表:
出入り自由。;
アクセス:
バス;

アモレイラス庭園／マルセリーノ・メスキータ庭園（Jardim das Amoreiras ou Jardim Marcelino Mesquita） 劇作家、詩人、そして作家として活躍したマルセリーノ・メスキータの名を冠するこの公園は、サン・マメーデ（S. Mamede）地区の中にあります。

この場所は1759年に新たにつくりかえられ、ポンバル侯爵によって331本のクワの木（アモレイラ）が植えられました。これはポルトガルの絹産業の刺激を意図したものです。当時、この広場の近くにある工場が絹産業の中心となっていました。 この小さな庭園では、状態の良いクワの木をはじめ、素晴らしいイチョウやサイカモアカエデなど、10種類の木を目にすることができます。

庭園の周りには、絹工場の工場主たちが住んだ18世紀の建物や、アモレイラス通り（Rua das Amoreiras）にある一連の装飾パネル、アモレイラス貯水池（Mãe d´Água das Amoreiras）、水道橋の下にあるノッサ・セニョーラ・デ・モンセラーテ教会（Ermida de Nossa Senhora de Monserrate）、修復された工場の建物を使用したアルパド・スゼンヌ‐ヴィエラ・ダ・シルヴァ美術館（Museu Arpad Szénes-Vieira da Silva）があります。この美術館は、ポルトガルの現代アーティストであるマリア・ヘレナ・ヴィエラ・ダ・シルヴァとその夫であるハンガリー人画家アプラド・スゼンヌを記念した美術館です。

また公園内には、子どもの遊び場や小さな池があり、遊歩道や東屋も設けられています。

Jardim do Príncipe Real ou Jardim França Borges

住所： Praça do Príncipe Real - Lisboa

特色とサービス:
バー; レストラン;
アクセス:
バス;

プリンシペ・レアル庭園／フランサ・ボルジェス庭園（Jardim do Princípe Real ou Jardim França Borges） 共和主義者のジャーナリストの名をとってフランサ・ボルジェス公園と名付けられたこの公園は、メル

時刻表:
午前9時～午後8時。;
特色とサービス:
トイレ; バー; レストラン;
アクセス:
バス;

カルースト・グルベンキアン財団庭園（Jardins da Fundação Calouste Gulbenkian） カルースト・グルベンキアン庭園は、同名の芸術財団が入る建物を囲むようにつくられています。敷地内には、同財団のコンサートホールや展示スペース、現代アートセンター、そして図書館とレストラン／バーを備えた美術館があります。

財団設立者のカルースト・グルベンキアンを記念して1950年代につくられたこの公園は広々としており、あらゆるレジャー活動や文化活動に理想的な場所です。また、慎重にデザインされた景観の中に、さまざまな種類の植物が植えられています。

公園全体とその中の庭園や緑地帯の設計は、造園家のゴンサロ・リベイロ・テレスとアントニオ・ヴィアナ・バレットが担い、財団の建物を設計した建築家のアルベルト・ペッソン、ペドロ・シド、ルイ・アソウギアと協力しながらデザインしました。

Parque Eduardo VII

住所： Parque Eduardo VII - Lisboa

特色とサービス:
屋外駐車場; レストラン;
アクセス:
バス;

エドゥアルド7世公園（Parque Eduardo VII）
エドゥアルド7世公園は、サン・セバスティアン・ダ・ペドレイラ（São Sebastião da Pedreira）地区にあります。リベルダーデ通り（Avenida da Liberdade）から北に広がっており、街を一望することができます。元々はリベルダーデ公園と呼ばれていましたが、1903年に英国の王エドワード7世がリスボンを訪れたのを記念して改名されました。

この公園は、昔も今もフェアや展覧会などさまざまなエンターテイメントの舞台となっています。 芝の緑地帯をはさんで両側にポルトガル様式の舗道を配したデザインは、ケイル・ド・アマラルの手によるもので、リスボンの名所のひとつとなっています。

公園内にあるスポーツ・パビリオンは、1932年にジョアン5世様式で建てられました。現在このパビリオンは、ポルトガルの有名な運動選手を記念してカルロス・ロペス・パビリオンと呼ばれています。また公園内には、世界中のさまざまな植物を集めた温室やいくつかの池があり、エドワード7世の胸像やジョアン・クティレイロが製作した4月25日革命の記念碑などさまざまな彫刻が各所に置かれています。

その他にも、子ども公園や展望台、野外ステージ、ピクニック場、クラブVII複合スポーツセンターがあり、センターにはテニスコート、ジム、プール、レストランが入っています。

Tapada das Necessidades

住所： Largo das Necessidades 1399-051 Lisboa

時刻表:
午前10時－午後6時半。休:12月24、25、31日、1月1日、復活祭の日曜日。;
アクセス:
バス;

タパダ・ダス・ネセシダーデス（Tapada das Necessidades） タパダ・ダス・ネセシダーデスは、1604年からプラゼーレス（Prazeres）地区にセス（Mercês）地区にあり、別名プリンシペ・レアル庭園とも呼ばれています。

イギリス・ロマン主義の影響を受けてつくらた園内には、高さ20メートルを越す樹齢100年の「ブサコのヒマラヤスギ」が立ち、公園を見守り続けてきた記念碑的な存在となっています。また、園内に複数ある小宮殿は、ロマン主義の19世紀リスボンを今に伝えています。公園の下には、公園と同時期につくられた、EPAL水博物館（Museu da Água da EPAL）所有のパトリアルカル貯水池（Reservatório da Patriarcal）があります。

他にも、アンテロ・デ・ケンタールの没後100年を記念して作られたラゴン・エンリケスの像をはじめ、さまざまな彫刻、サンドイッチの売店と東屋、池、さまざまな遊具のある子どもの遊び場、ゲームテーブルが備えられた休憩所があります。

Parque do Monteiro-Mor

住所： Largo Júlio Castilho, 2 (Museus do Traje e do Teatro) 1600-495 Lisboa

時刻表:
6月～9月:午前10時～午後7時;
10月～5月:午前10時～午後6時。
休:月、 1月1日、聖金曜日、復活祭の日曜日、5月1日、12月25日。;
特色とサービス:
バー; レストラン;
アクセス:
バス;

モンテイロ‐モル公園（Parque do Monteiro-Mor）
ルミアール（Lumiar）地区の中にあり、国立服飾博物館（Museu Nacional do Traje）と国立演劇博物館（Museu Nacional do Teatro）に隣接しています。この公園は、18世紀に植物学者ドミンゴス・ヴァンデーリの設計でつくられました。

この公園は空間を上から下までうまく利用しており、高い木々が枝を広げてつくる涼しい陰の下で若い木々が成長しています。

小川や池の他に、小さな庭園もあります。

Parque Recreativo dos Moinhos de Santana

住所： Rua Tristão Vaz - Alto do Restelo 1400-353 Lisboa

時刻表:
4月～9月:午前9時～午後8時; 10月～3月:午前9時～午後6時。;
アクセス:
バス;
特色とサービス:
レストラン;
モイーニョス・デ・サンタナ・レクリエーションパーク（Parque Recreativo dos Moinhos de Santana）
のおよそ5ヘクタールの敷地には、芝生で覆われた広いスペース、大小さまざまな多くの木々、そして豊富な水をたたえた湖や滝があります。いろいろなスポーツ設備や、あらゆる年齢層が楽しめる娯楽施設もあります。

そうした施設には、ピクニック場、子どもの遊び場、スケートボード用のサーキット、ローラースケートリンク、フィットネス・トレーニング用のトラック、そして180人を収容できる野外劇場があります。

あった猟場です。1742年、ポルトガル王ジョアン5世が周囲の農地を購入し、礼拝堂、修道院とともに自分が住まうための宮殿を建てました。 1843年、フェルナンド王がボナルドに庭園の再設計を依頼し、それまで菜園だったところをイギリス風の庭園にしました。その後ペドロ5世（19世紀）が円形の温室を建て、カルロス1世（19世紀末）がテニスコートとパビリオンをつくりました。このパビリオンは「カザ・ド・レガーロ」（Casa do Ragalo）と呼ばれ、アメリア王妃がアトリエとして使用していました。現在は、公園の森林管理委員会が管理しています。 公園内には、パルメイラ（Palmeira）、エストレリシアス（Estrelícias）、デューケ・デ・ラフォンス（Duque de Lafões）と呼ばれる3つの池があり、その周りにはさまざまな珍しい植物や、小さな滝、噴水、貯水池、そして「エスタトゥアリア・ダス・ヴィルトゥデス（美徳の像）」シリーズをはじめとする彫刻が見られます。

Oeiras

Parques dos Poetas
住所： Rua S. Salvador da Baía, 2780 Oeiras
ウェブサイト： http://www.cm-oeiras.pt/voeiras/Turismo/OndeIr/Paginas/PatrimonioNaturaleAmbiental.aspx

Sintra

Parque da Pena
住所： Estrada de Monserrate 2710-405 Sintra

時刻表:
冬季 （9月16日～ 4月30日）:午前10時 ～午後6時 （入場券販売終了午後5時）；
夏季 （5月1日～ 9月15日）: 午前9時半 – 午後8時 （入場券販売終了午後7時）。;
アクセス:
バス; 鉄道駅;
特色とサービス:
ガイドツアー;

ペナ公園（Parque da Pena） ペナ公園は、フェルナンド2世の自由な想像力の賜物であり、19世紀のロマン主義時代の学問と芸術の傾向を反映しています。フェルナンド2世は、建築家のエッシュウェーゲ男爵とエンジニアのケスラー男爵と共に、ペナ宮殿を含む公園全体のプランを練り上げました。

フェルナンド2世は、古典的な庭園の幾何学的な硬さを排除し、土地の起伏や土壌、山地特有の気候、そして息を呑むような絶景を生かして、完璧に自然を再現しようとしました。ペナ宮殿がオペラの舞台や遠い国々にヒントを得た模造廃墟を基礎としているのと同様に、ペナ公園も多様で対照的な環境の中に驚くほど風変わりな特徴をちりばめたデザインになっています。この構想を実現させるために、フェルナンド2世は、ジェロニモス派の修道士たちが残した建物を公園と宮殿の中に組み入れました。

フェルナンド王は湖を滝で結び、世界中から集められた植物たちを森や林に移植しました。それらには、日本のスギ、ニュージーランドのシダ、レバノンスギ、ブラジルのナンヨウスギ、北アメリカのニオイヒバ、そして無数のポルトガル国内の植物が含まれ、合計2000種を超えています。また公園のあちこちに、贅沢なパビリオンや噴水、小さな泉や小川、また人目につかない静かな場所や展望塔がつくられました。

この公園を標識どおりにまわると、通常1時間15分程度かかります（およそ4 km）。

公園内にはレストランとカフェテリアも設けられています。公園に行くには、シントラ（Sintra）の街まで来れば、ペナ公園の方向を示す標識が出ています。また、街の中心部からペナ公園行きの公共バスも運行され

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com

ています。

2013 ポルトガル観光局 無断転載・転用禁止
info@visitportugal.com